



# 鹿折まちづくり通信vol.57

発行日：令和5年4月1日

令和5年3月12日(日)に鹿折まちづくり協議会で視察研修を行いました。



南三陸311メモリアルにて



街づくりまんぼうにて

「南三陸3.11メモリアル」と「石巻街づくりまんぼう」へ視察研修に行きました。南三陸3.11メモリアルではラーニングシアターで「住民同士の助け合い」をテーマに防災活動について学び、石巻まちづくりまんぼうでは石巻市街地のまちづくりについて視察・研修を行いました。街づくりまんぼうのまちづくりについて事前学習していたこともあり、質疑応答ではさまざまな質問が続出しました。研修受け入れ先も的確な応答で、満足度の高いかなり内容の濃い研修となりました。今回の視察研修で学んだことや新たな気づきを今後のまちづくり及び防災活動に活かしていきたいと思えます。

令和5年2月19日(日)にJICA国際セミナーで事例発表。



国際協力セミナー「インドネシアと宮城の絆」に鹿折まちづくり協議会が参加いたしました。当日は、仙台・インドネシア・気仙沼を結んでセミナーが開催され、気仙沼はまち協・熊谷会長が「小さな町の国際交流～気仙沼市鹿折地区から～」というタイトルで、インドネシアからきた技能実習生と鹿折住民との20年にわたる交流の姿を発表いたしました。ズームでの発表だったので仙台本会場の反応がわからなかったのですが、後からJICAに聞いたところ「参加者も、運営側の方も、とても熱心に時に笑いながら聞き入っていました！」とのことで安心しました。もちろん気仙沼会場も盛り上がったようです。ちなみにJICAは海外協力隊の派遣元ですが最近では日本国内の外国の方のサポートにも力を入れているそうです。





1月24日(火)鹿折まちづくり協議会役員会が開催されました。令和4年の活動報告をいたしまして、報告内容は「新しい自治会」「千葉県議会視察」「鹿折地区まち点検」「市政懇談会の質問に関する報告」でした。役員の方からは市政懇談会関連でJR線路敷の除草問題や津波浸水区域にかんする事柄などに関して意見をいただきました。また、貴重な報告をいただいたりするなどとても有意義な役員会でした。



東日本大震災から12年たちました。今年も、まち協構成員が津波記憶石に花を供えていました。津波記憶石には鹿折中学校生徒や地区住民から寄せられた82通の'未来へのメッセージ'が刻まれています。津波の記憶とともに未来へのメッセージが未来永劫受け継がれ、災害のない鹿折地区及び気仙沼・東北・日本になればと思います。



2月13日に東北大学の学生さんたちが、まちづくり協議会にいらっしゃいました。東北大学の学生さんたちには2021年の秋にまち協記録誌の作成を一週間かけてお手伝いしていただきとても助かりました。当時2年生だった皆さんも、早卒業でそれぞれ就職や進学そして東京・中国・仙台へと次のステージへ進むそうです。東北大学の皆さんの輝ける未来をまちづくり協議会一同お祈り申し上げます。



梶ヶ浦漁港は防潮堤工事で震災前と比較するとだいぶ景色が変わりました。震災の大津波で流された、梶ヶ浦水門の橋の架かっていた場所も何処なのか分からないくらいです。震災当時は市街地との交通手段も遮断され、地域の皆さんで近くに流出された廃材を運んで仮の橋を渡し歩いたそうです。漁港の二箇所防潮堤工事も本体はほとんど完成をしており附近道路の舗装工事や細部の工事の真最中でした。

## 鹿折まちづくり協議会 会員募集

【こんなことを話しています】

- ・地域の課題や問題の解決方法について
- ・地域の振興につながるイベントの実施について
- ・行政への提言について

毎週火曜日 午後7時～9時

会場：鹿折公民館

(会場が変わる場合もあります)

まちづくりに興味のある方なら

どなたでもご参加できます！



※詳しくは鹿折まちづくり協議会事務局  
までお問い合わせください♪

【発行・・・鹿折まちづくり協議会

TEL:08045103395/Mail:[shishiori16@gmail.com](mailto:shishiori16@gmail.com)

